

会 議 録

会議名	平成28年度 第1回豊田市入札監視委員会		
日 時	平成28年7月5日(火) 午後3時～午後4時50分		
場 所	豊田市役所 南庁舎5階 53会議室		
出席者	委員長 曾我部博之	総務部	副部長 藤本 聡
	委 員 河野 伊知郎	契約課	課 長 能見 秀行
	岡田 千絵		副課長 大内 紀哉
	丹羽 忠彦		担当長 永田 浩晃
			担当長 近藤 正典
			担当長 村井 幸介
		上下水道局総務課	副課長 石川 直美
			担当長 成瀬 孝紀
		主 査 勝上 紘美	

1 総務部副部長あいさつ

2 委員長選出

曾我部委員を選出

3 報告事項

(1) 平成27年度の契約状況

◇市長部局

質 問	回 答
数年後の税制改革により豊田市への影響がどの程度あるのか。また、今後の発注(契約)はどう対応していくのか。	豊田市への影響は大きいものと認識している。必要な経費(リース等)は減らすことはできないが、建設工事等について発注(契約)を調整する必要がある。
費用(予算)がなく、必要となる発注がある場合はどのようにするのか。	大規模なハード事業は第8次総合計画の策定の中で財政計画とともに協議している。必要となる発注があった場合は、基金の活用や市債の発行等を行い、費用(予算)を捻出する方法もある。
物品の買入と借入の判断基準はあるのか。	物品の調達時期によって買入と借入の状況が変化するため、調達時期ごとに検討している。
H25年度を中心とした、工事における不調や不成立の全国的な要因とは何か。	東京オリンピックや東日本大震災の復旧等、全国的に大規模な工事があることにより、技術者や資材等の不足が要因として挙げられる。
業務委託の特徴として、随意契約が半数を占めるとあるが、豊田市だけの特徴になるのか。	随意契約が多いものとして、システムの保守業務などがある。これらは他の自治体でも随意契約としているものである。随意契約の業務の中でも競争入札による契約で行うことが可能なものがあり、今後はその精査を行っていく予定である。

システムの保守業務が随意契約となることから、システム開発を発注（契約）する際に何か注意しているのか。	システム開発を発注（契約）プロポーザル等により、システム開発費用だけで業者を選定するのではなく、システム運用体制（効率性、費用面）の面も含めた選定も行っている。
不調や不成立により契約に至らなかった場合はどのような対応をするのか。	案件の見直し（内容、金額、発注時期）を行って、再度発注等を行っている。

◇上下水道局

質 問	回 答
豊田市内の水道事業関連の業者は少ないのか。	大規模業者は少ない。 管路の工事は小規模の業者でも工事を行うことが可能であるため、市内業者の契約が多い。
建築工事の平均参加者数が市長部局の平均参加者数と大きく違うのはなぜか。	市長部局とは発注件数が大きく違うため、平均参加者数の差が生じたと思われる。
「庁舎の分散解消」とあるがどのような内容なのか。	局内の部署が本庁を含め複数の場所に点在しており、施設や管路の維持管理など現場作業機能を集中させるため、部署の場所を集中させるものである。

（２）入札参加停止等の状況

質 問	回 答
「落札後に契約締結を辞退」とはどのような理由なのか。	落札後に業者が業務内容を再度確認したが、経費の見込み違いが発覚して、契約辞退をしたものである。
経営事項審査を受けずに公共工事の請負契約の締結をすることはできるのか。	経営事項審査の有効期間は1年7か月であり、入札参加資格期間（2年）との差があるため確認漏れが起きたと推測される。豊田市では、工事の契約締結をする際には必ず経営事項審査の確認を行っている。

4 審議事項

（１）平成28年3月議会・6月議会案件

質 問	回 答
議会案件の対象案件はどのように定められているのか。	地方自治法及び条例に基づき、金額により定められている。
「中核製材工場用地造成工事」に関して、製材工場を市が運営するということか。	豊田市は用地を造成するが、工場の建設及び運営は業者が行うものである。

（２）委員選定案件等

質 問	回 答
グランドピアノ等の買入れに関して、メーカーが参加することは可能であるのか。	入札参加資格があれば、入札に参加することは可能である。

5 その他

(1) 最近の動向

特になし。

(2) 第2回委員会の開催予定について

第2回開催予定は、11月を予定。